

防災・復興ワーキンググループ会合（大船渡災害復興計画策定に関する支援と防災・復興研究に関する討議）

日 時 2011年5月16日（月曜日）14時40分～16時30分
場 所 地域調査実習室1（岩手県立大総合政策学部）
出 席 者 遠藤教授，吉野教授，木場教授，倉原教授，高嶋教授，伊藤准教授，
栗田准教授，西出准教授，Tee 准教授，阿部准教授，小井田准教授，
窪准教授，見市准教授，島田講師，金子講師，茅野講師，鈴木助教，
新田講師（18人）
議 題 ファシリテーターの役割と今後のスケジュール

要 旨：

1. 大船渡市第1回復興計画策定委員会専門部会(5/22)について
(1) 支援担当者として以下の9名が参加することになりました。
 - ①市民生活：倉原教授，窪准教授
 - ②産業経済：Tee 准教授，見市准教授，新田講師
 - ③都市基盤：高嶋教授，島田講師
 - ④防災まちづくり：伊藤准教授，西出准教授(2) 以下の検討課題が提示されました。
5/20(金)に専門部会ファシリテーターの進行案を市とメンバーに提示する。
2. 防災・復興ワーキンググループの研究活動について
(1) 以下の3研究チームの構成とすることが決定されました。
 - ①社会調査チーム
 - ②産業経済・行政チーム
 - ③社会・環境基盤チームそのほか、事務局を置くことが決定され、チーム毎の会計責任者と仮のチーム長が選任されました。
(2) 今後の予定
学部内の全教員を対象とし、チーム構成員の公募を行う予定です。

以上